



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 大日精化工業株式会社
 コード番号 4116 URL <http://www.daicolor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 弘二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高財務責任者 (氏名) 有江 朋之
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3662-1638

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	91,319		6,343	127.6	7,008	101.7	5,286	51.1
2021年3月期第3四半期	99,314	15.5	2,787	39.7	3,474	30.6	3,499	12.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 6,308百万円 (29.7%) 2021年3月期第3四半期 4,864百万円 (77.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	286.12	
2021年3月期第3四半期	188.49	

(注) 2022年3月期第1四半期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用したため、上記の連結経営成績は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。このため、「売上高」における対前年同四半期との増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	196,656	108,586	54.2
2021年3月期	197,717	103,660	51.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 106,657百万円 2021年3月期 101,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		15.00		30.00	45.00
2022年3月期		40.00			
2022年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,000		8,000	62.6	8,600	53.2	6,000	5.4	324.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年3月期第1四半期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しているため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。このため、「売上高」における対前連結会計年度との増減率は記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	18,613,110 株	2021年3月期	18,613,110 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	133,286 株	2021年3月期	139,956 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	18,477,612 株	2021年3月期3Q	18,565,250 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の変異株拡大により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下で当社グループにおいては、主要販売先である車両業界・情報電子業界向けは、販売先における半導体不足等の部品・原材料の供給制約による生産減少の影響を一部受けましたが、コンパウンド・着色剤・ウレタン樹脂の販売が好調に推移しました。包装業界向けは、一般包材向けのグラビアインキの販売が前年並に推移しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は913億1千9百万円となりました。なお、当期より「収益認識に関する会計基準」等（以下、「収益認識会計基準」）を適用し、従来の会計処理方法に比べて売上高と売上原価がそれぞれ337億8千6百万円減少しております。営業利益は、原材料価格の高騰や原材料調達難が継続しておりますが、販売価格の適正化を実施したこと、また、「収益認識会計基準」の影響を除いた売上高の実質的な増収により、63億4千3百万円（同127.6%増）の増益となりました。経常利益は70億8百万円（同101.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は52億8千6百万円（同51.1%増）となりました。

次に報告セグメントの業績についてご報告します。

なお、第1四半期連結会計期間の期首より、報告セグメントを変更しました。前第3四半期連結累計期間との比較数値については、変更後の報告セグメントに組み替えて記載しております。

(カラー&ファンクショナル プロダクト)

当事業は、顔料・繊維用着色剤・プラスチック用着色剤・コンパウンド・顔料分散体・機能性材料の製造・販売を行っております。

車両業界向けのコンパウンド・プラスチック用着色剤は、第3四半期に自動車生産減産の影響が一部ありましたが、国内外ともに好調に推移しました。情報電子業界向けの顔料及び分散体は、ディスプレイ用途が好調に推移し、オフィス事務機用途は回復傾向となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、「収益認識会計基準」適用の影響により526億3千1百万円の減収となりましたが、営業利益は40億4千9百万円（同1,240.1%増）の増益となりました。

(ポリマー&コーティング マテリアル)

当事業は、UVコート剤・ウレタン樹脂・天然物由来高分子の製造・販売を行っております。

車両業界向けのウレタン樹脂は、一部で自動車生産減産の影響を受けましたが、採用の拡大もあり好調に推移しました。情報電子業界向けのUVコート剤は、ディスプレイ用途が前年並みに推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は176億4百万円、営業利益は26億7千3百万円（同50.2%増）となりました。

(グラフィック&プリンティング マテリアル)

当事業は、グラビアインキ・オフセットインキの製造・販売を行っております。

包装業界向けのグラビアインキは、国内は堅調、海外はインドネシア子会社で新型コロナウイルス感染症拡大の影響により低調に推移しました。広告出版業界向けのオフセットインキは、夏場の緊急事態宣言による影響により低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は210億2千万円となりました。営業損失は、原材料価格高騰及び坂東製造事業所稼働開始による減価償却費等負担の影響により4億7百万円（前年同期は6億9千5百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,966億5千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ10億6千万円減少しました。これは、「受取手形及び売掛金」や「棚卸資産」が増加した一方で、「現金及び預金」が減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は880億6千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ59億8千6百万円減少しました。これは、「支払手形及び買掛金」が増加した一方で、「短期借入金」や「長期借入金」が減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,085億8千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ49億2千6百万円増加しました。これは、「為替換算調整勘定」が増加したこと及び「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上により「利益剰余金」が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、2021年11月11日に開示しました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,650	24,261
受取手形及び売掛金	47,778	53,543
棚卸資産	25,925	32,362
その他	1,577	1,553
貸倒引当金	△70	△80
流動資産合計	111,861	111,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,051	21,508
土地	13,972	13,994
その他(純額)	17,349	16,335
有形固定資産合計	51,373	51,837
無形固定資産		
その他	2,346	2,033
無形固定資産合計	2,346	2,033
投資その他の資産		
投資有価証券	20,635	19,383
退職給付に係る資産	8,363	8,669
その他	3,152	3,113
貸倒引当金	△15	△21
投資その他の資産合計	32,135	31,144
固定資産合計	85,855	85,015
資産合計	197,717	196,656
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,566	32,260
短期借入金	12,610	10,467
1年内返済予定の長期借入金	8,449	7,538
未払法人税等	1,329	769
賞与引当金	1,786	994
関係会社整理損失引当金	14	5
環境対策引当金	25	17
その他	8,438	6,252
流動負債合計	59,220	58,306
固定負債		
長期借入金	20,783	16,084
関係会社整理損失引当金	17	—
環境対策引当金	3,102	3,074
退職給付に係る負債	8,526	8,730
その他	2,406	1,874
固定負債合計	34,836	29,763
負債合計	94,056	88,069

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,772	9,773
利益剰余金	76,392	80,386
自己株式	△330	△314
株主資本合計	95,875	99,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,046	7,076
為替換算調整勘定	△1,875	△357
退職給付に係る調整累計額	△147	53
その他の包括利益累計額合計	6,023	6,772
非支配株主持分	1,761	1,928
純資産合計	103,660	108,586
負債純資産合計	197,717	196,656

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	99,314	91,319
売上原価	83,702	71,387
売上総利益	15,612	19,932
販売費及び一般管理費	12,824	13,588
営業利益	2,787	6,343
営業外収益		
受取利息	106	64
受取配当金	335	322
持分法による投資利益	65	123
補助金収入	335	—
その他	611	516
営業外収益合計	1,455	1,027
営業外費用		
支払利息	307	263
支払手数料	141	—
その他	319	98
営業外費用合計	768	362
経常利益	3,474	7,008
特別利益		
投資有価証券売却益	1,896	216
関係会社整理損失引当金戻入額	45	—
その他	9	35
特別利益合計	1,952	251
特別損失		
減損損失	50	—
固定資産除却損	93	103
関係会社整理損失引当金繰入額	24	—
関係会社整理損	242	—
その他	224	21
特別損失合計	635	124
税金等調整前四半期純利益	4,791	7,135
法人税、住民税及び事業税	732	1,745
法人税等調整額	549	△50
法人税等合計	1,281	1,695
四半期純利益	3,509	5,440
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	153
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,499	5,286

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	3,509	5,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,805	△969
為替換算調整勘定	△685	1,546
退職給付に係る調整額	275	200
持分法適用会社に対する持分相当額	△41	91
その他の包括利益合計	1,354	868
四半期包括利益	4,864	6,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,914	6,035
非支配株主に係る四半期包括利益	△50	273

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、顧客から原材料等を仕入れ、加工を行ったうえで当該顧客に販売する有償受給取引において、従来は原材料等の仕入価格を含めた対価の総額で収益を認識しておりましたが、加工代相当額のみを純額で収益として認識する方法に変更しております。

また、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

この結果、従前の会計処理と比較して、当第3四半期連結累計期間の売上高及び売上原価はそれぞれ337億8千6百万円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への 売上高	64,383	14,057	20,650	99,090	223	99,314
(2)セグメント間の 内部売上高 又は振替高	66	240	—	306	(306)	—
計	64,450	14,297	20,650	99,397	(82)	99,314
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	302	1,780	695	2,777	10	2,787

(注) 「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産に区分される土地の減損損失を特別損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては31百万円であります。

各報告セグメントに配分していない全社資産において、建物の減損損失を特別損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては18百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への 売上高	52,631	17,604	21,020	91,256	62	91,319
(2)セグメント間の 内部売上高 又は振替高	101	280	—	382	(382)	—
計	52,733	17,885	21,020	91,639	(320)	91,319
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	4,049	2,673	△407	6,314	28	6,343

(注)「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(収益認識に関する会計基準等の適用)

(会計方針の変更)に記載のとおり、「収益認識会計基準」を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。

当該変更による、従来の方法との比較情報は、「3. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報 <有償受給取引による売上高への影響額>」に記載のとおりであります。

(報告セグメントの変更)

当社グループの報告セグメントは、従来「化成品事業」、「化学品事業」、「高分子事業」、「印刷総合システム事業」及び「その他事業」としておりましたが、第1四半期連結会計期間の期首より、「カラー&ファンクショナル プロダクト」、「ポリマー&コーティング マテリアル」及び「グラフィック&プリンティング マテリアル」に変更しております。

この変更は、中期経営計画の策定を契機に、今後の基盤事業の再構築や、製品開発の強化、新規事業の育成など、中長期的な成長に向けた事業戦略の推進のため行うものです。

なお、変更後の各報告セグメントに属する主要製品・サービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品・サービス
カラー&ファンクショナル プロダクト	顔料、繊維用着色剤、プラスチック用着色剤、コンパウンド、 顔料分散体、機能性材料
ポリマー&コーティング マテリアル	UVコート剤、ウレタン樹脂、天然物由来高分子
グラフィック&プリンティング マテリアル	グラビアインキ、オフセットインキ

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報
 <地域別><契約別>

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
日本	37,810	12,885	16,308	67,004	62	67,066
アジア	11,437	2,713	4,400	18,552	—	18,552
その他	3,383	2,005	312	5,700	—	5,700
計	52,631	17,604	21,020	91,256	62	91,319
顧客との契約から 生じる収益	52,631	17,604	21,020	91,256	36	91,293
その他の収益	—	—	—	—	26	26
外部顧客への売上高	52,631	17,604	21,020	91,256	62	91,319

<有償受給取引による売上高への影響額>

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
外部顧客への売上高 (総額)	86,365	17,652	21,024	125,043	62	125,105
有償受給取引による 売上相殺額	△33,734	△48	△4	△33,786	—	△33,786
外部顧客への売上高 (純額)	52,631	17,604	21,020	91,256	62	91,319

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。